清水強豪撃破

【1回戦・清水―埼玉栄】第1ピリオド3分すぎ、㊻間山慎也がドリブルでゴールに迫る

全国高校スケートアイスホッケー

埼玉栄に4―2競り勝つ

【長野・軽井沢】全国高校総合体育大会（インターハイ）・第60回全国高校スケート競技選手権大会（全国高体連など主催）は20日、長野市などでスピード、フィギュア、アイスホッケーの3競技を行った。アイスホッケーは風越公園アイスアリーナなどで競技が開幕。初日は1回戦を行い、清水は4―2で埼玉栄に競り勝って初戦を突破した。19日は長野市のエムウエーブでスピード、ビッグハットでフィギュアの第2日を行い、スピードの男子1000㍍は長谷川翼（白樺学園2年）が1分13秒28で準優勝した。後藤卓也（帯農1年）は7位入賞と健闘した。小田卓朗（山形中央3年）が大会新記録の1分12秒91で優勝した。フィギュアは女子B予選などを行い、長谷川圓（白樺学園3年）は32・76をマークしBで24位、AB総合で38位となり決勝進出を逃した。（高橋宏幸、塩原真）

アイスホッケー（20日）

◇1回戦

清水	0	2	1	1	埼玉栄
	1	1	0	2	

1回戦屈指の好カードとなった清水―埼玉栄は、第1ピリオド終了間際に先制を許した清水が、第2ピリオド7分すぎにDF梶原聡人（3年）、FW間山慎也（同）の連続ゴールで一時逆転。13分すぎに失点し2―2で最終ピリオドへ。第3ピリオド17分すぎにFW今野友尋（2年）が勝ち越しゴールを決め、続けてFW晒谷凌太（同）のエンプティゴールで追加点。4―2で昨夏の全国選抜大会準優勝の強豪を撃破した。

清水は21日の2回戦で渋川工（群馬）―岡山理大付（岡山）の勝者と対戦する。

スピード

体力不足が課題 最後にふんばれず

長谷川

○…500㍍との2冠を狙った男子1000㍍の長谷川翼は今季W杯前半戦の代表・小田卓朗と二騎打ち。序盤は長谷川が先行し、600㍍通過時点で0・58秒差をつけリードしたが、最後のバックストレートからコーナーにかけて小田の猛追を受けて逆転された。

「最後にふんばりきれなかった。これが自分の実力。実力を出し切ったので完敗ですね」と長谷川。体力不足を課題に挙げ、「この悔しさをバネに、夏の間に体力をつけて、精神的にも強くなりたい。後半足にきても粘れる根性をつけてまた勝負したい」と意欲を新たにしていた。

【男子1000㍍】前半から積極的に飛ばして2位に入った長谷川翼

全国へ 斉藤喬（忠類3年）大回転5位、回転7位

道中学校スキー

第43回道中学校スキー大会（道中体連、道スキー連盟など主催）のアルペン競技が、に全国大会（2月7～10日、福島県猪苗代町）への出場権を獲得した。弟の友貴（同1年）も大回転23位、回転20位と健闘。女子の十勝勢はいずれも1本目で敗退した。（佐藤圭史）

技術磨いて 表彰台狙う

大回転5位、回転7位でいずれも全国への切符を手に入れたものの、斉藤喬太は結果に満足していなかった。

大回転では1回目が57秒07の8位、2回目が1分0秒30の2位と巻き返した。「スキーと雪面がばらつかずに滑らかにいった。力を入れるタイミングが良かった」と手応えを感じてはいるが、小差ながらも5位にとどまり、全国でも上位を占める道内勢の強さを実感した。

大回転、回転の2種目で全国出場を決めた斉藤喬太

回転では2回目で、でこぼこのコースに対して膝をうまく使うことができず、スキーが〝飛んでいく〟場面も。「1回目の結果を挽回しようと力んでしまった。まだまだ技術が足りない。加速させる動きを磨いていきたい」と意気込む。

精神面も強くなってきている。白銀台スキー場（幕別町忠類）で斉藤を指導する丸田耕志コーチは「失敗を恐れず、自分の滑りを貫けるようになっている。全国でも十分に戦える」と力を込める。

昨年の全国中体連では2回目に旗門不通過で失格。「同年代と競う中体連は自分にとって特別な大会。1位じゃないと意味がない」と話し、表彰台を狙っている。

（2位以下関係分）

【男子】▽大回転＝①工藤斉藤喬太（忠類）1分54秒90⑤斉藤友貴（同）2分2秒14㉓斉藤友貴（同）2分57秒37▼1本目敗退＝松山大悟（帯一）1分1秒76、中川拳（幌中央）1分1秒91、小松遼太郎（芽室）1分1秒91、高橋北透（帯二）1分2秒77、督宗（奈井江）1分54秒90⑤斉藤喬太（忠類）1分57秒37㉓斉藤友貴（同）2分2秒14▼1本目敗退＝松山大悟（帯一）1分1秒76、中川拳（幌中央）1分1秒91、小松遼太郎（芽室）1分1秒91、高橋北透（帯二）1分2秒77、滝谷龍太（帯四）1分3秒48、森岡大（上士幌）1分3秒61、川田幹也（中札内）1分3秒77、佐藤史都（緑南）1分6秒80、西川周平（忠類）1分7秒77、高島天太（同）1分7秒98、蛯原陸（同）1分8秒26▼1本目途中棄権＝芦田悠（上美生）、柳澤幸輝（鹿追）

▽回転＝①今野有哉（富良野東）1分39秒75⑦斉藤喬太（忠類）1分42秒85⑳斉藤友貴（同）1分47秒31㊷中川拳（上士幌中央）1分54秒29㊻高橋北透（帯二）1分55秒19㊿松山大悟（帯一）2分5秒67▼1本目敗退＝芦田悠（上美生）1分5秒22、井出大地（帯緑園）1分6秒95、柳澤幸輝（鹿追）1分7秒06▼1本目途中棄権＝森岡大（上士幌）、川田幹也（中札内）、小松遼太郎（芽室）

【女子】▽大回転＝①安藤麻（旭川東陽）1分56秒72▼1本目敗退＝後藤沙里菜（帯四）59秒42、藤森友愛（帯八千代）1分0秒84、阿部愛佳（上士幌）1分0秒84、竹本楓（帯七）1分2秒25、安宅華凛（忠類）1分5秒02▼1本目途中棄権＝石原綾音（芽室）、後藤有香（帯四）

▽回転＝①小林優里（立命館慶祥）1分48秒71▼1本目敗退＝後藤沙里菜（帯四）1分0秒92、後藤有香（同）1分2秒03、竹本楓（帯七）1分5秒37、阿部愛佳（上士幌）1分5秒81

憧れの選手と交流

アジアリーグキッズキャンプ

管内小学6年生29人参加

アイスホッケーアジアリーグのトッププレーヤーが、子供たちと交流する「キッズキャンプ」（同リーグジャパンオフィス主催）が19日午後、帯広の森アイスアリーナで開かれた。管内の小学6年生29人が参加し、日本製紙クレインズのDF鬼頭俊行（明大―白樺学園高、幕別中出）ら、憧れの選手から楽しく技術指導を受けた。

アイスホッケーを通じて、スポーツの楽しさを伝えることを目的に今季8会場で開催。7会場目となる帯広では、20日に同アリーナで行われる日本製紙―チャイナドラゴン戦に合わせて実施した。

指導に当たったのは、鬼頭ら選手8人と佐々木博明監督とコーチ1人。参加者は、スケーティングやパックハンドリングなどを学び、最後は3対3のミニゲームを行った。

参加した開西の清水怜君（明星小6年）は「腕だけじゃなく、体を使ってシュートを打つよう小窪秀尚選手から教えてもらった」と目を輝かせていた。

鬼頭は「子供たちの笑顔を見て元気をもらった。韓国遠征で2連敗して帯広での試合を迎えるので、ここでしっかり立て直して勢いに乗りたい」と地元での勝利を誓った。日本製紙には鬼頭のほか、FW飯村喜則（明大―白樺学園高、帯二中出）、DF角田博司（東洋大―白樺学園高出）、GK清川和彦（白樺学園高出）が所属。けがのため飯村の出場はないが、地元出身勢の活躍が期待される。

日本製紙―チャイナドラゴンは、20日午後6時半から。会場では当日券を販売している。（小寺泰介）

鬼頭俊行選手（左から2人目）らの指導を受けて練習する小学生

勝毎杯アイスホッケーBブール

芽室町役場優勝 2部A

19日は帯広の森アイスアリーナなどで4試合を行った。2部Aは最終戦を行い、ウイングスが10―4でTeamギャラリエに勝利したため、3勝1敗の芽室町役場の優勝が決まった。

〈1部B〉

サンダーバードリンクス（2敗2分）	6	0	2	6	HOT Fashion（3敗1分）
	4	1	1	3	

▽得点者【サ】根本2、佐野2、伊藤、石丸【H】多田2、棚田、今野、小野、横地

▽アシスト【サ】伊藤2、野村、下山、根本、石丸【H】小野2、横地2、多田2、棚田

▽反則【サ】2【H】3

▽シュート数【サ】54（17、13、24）【H】31（6、15、10）

▽審判＝光井、堀井、竹森

◇順位＝①チーム猫大4勝②KSⅡ2勝1敗1分③ザ・トーチャンズ2勝2敗④サンダーバードリンクス2敗2分⑤HOT Fashion3敗1分

〈2部A〉

ウイングス（2勝2敗）	2	10	7	0	Team ギャラリエ（2勝2敗）
	1	2	2	4	

▽得点者【ウ】梅本光4、北原、梅本直、池田、蜂屋、富田、西浦【T】石川2、水崎2

▽アシスト【ウ】西浦2、梅本直2、梅本光、加藤、原田、富田、田中【T】高橋祐2、吉方2、坂田圭、吉田

▽反則【ウ】0【T】0

▽シュート数【ウ】30（14、10、6）【T】16（2、5、9）

▽審判＝光井、大澤、穴吹

◇順位＝①芽室町役場3勝1敗②ウイングス2勝2敗③Team ギャラリエ2勝2敗④六花亭グッドフェローズ2勝2敗⑤ゆうじろう一勝3敗

〈5部A〉

アルバトロス（3勝1敗）	2	5	2	1	教員クラブ（3敗1分）
	1	1	1	3	

▽得点者【ア】坂本3、東海林、菅原【教】国島、石岡、石倉、田川

▽アシスト【ア】菅原、内山【教】高澤、石岡

▽反則【ア】0【教】0

▽シュート数【ア】26（12、8、6）【教】29（8、9、12）

▽審判＝阿久津、岡崎、水藤

〈5部B〉

パラサイト（1勝3敗）	0	3	1	2	部Ⅱ（4敗）
	1	2	1	0	

▽得点者【パ】高橋靖、根田、糸尾【教】鎌田、井上

▽アシスト【パ】井上、片桐、宮下【教】木柳、工藤

▽反則【パ】5【教】1

▽シュート数【パ】24（8、7、9）【教】24（6、8、11）

▽審判＝阿久津、榛葉、渡辺

※同勝敗の順位は得失点差による

きょうの勝因

2A ウイングス 鹿野ちほマネジャー（26） 今日は試合開始前から選手たちのモチベーションが高かったので、それがそのまま勝利へとつながったのだと思います。でもやっぱり一番はかわいいマネジャーたちが参じく来てたから張り切っちゃったみたいです。キャプテンが4点も決めた!!

5A アルバトロス 坂本裕之監督（48） 生まれて初めてのGK吉田君の素晴らしいセーブで何とか勝てました。次も頑張ります！

5B パラサイト FW根田雅之（41） パラサイトは転勤族のチームで今シーズンは戦力ダウンしましたが、何とか初勝利できました。♪コンダコンダ～

選んで良かった

男子1000㍍で7位入賞の後藤卓也の話 1000㍍は苦手で、入賞できると思わなかったのですごくうれしい。足は疲労もたまっていない状態ではなかったが、コーナーの入り口がうまくいった。中学まで野球と掛け持ちだったが、全国中学（500㍍）で優勝してスケートしかないと思った。スケートを選んで良かった。

無念の途中棄権 最終日に懸ける

田渕

○…男子1000㍍で上位進出が期待されていた田渕浩基（白樺学園3年）は、最初のホームストレートを通過した後のコーナーで転倒し無念の途中棄権となった。「申し訳ない一言。500㍍で後輩2人が頑張ってくれたので、1000㍍でしっかり表彰台に上がりたかった」と目を赤くしながら唇をかんだ。

個人種目では悔しい結果に終わったが、最終日の2000㍍リレーがまだ残っている。実力者がそろう白樺学園は日本高校記録の可能性も十分。田渕は「記録を目指して頑張っていきたい」と気持ちを切り替えていた。

【女子予選B組】表現力でアピールする長谷川圓

長谷川（白樺学園）予選総合38位

フィギュア

（4位以下関係分）

【男子】◇総合成績＝①田中刑事（岡山理大付）179・89②木原龍一（中京大付中京）175・04③日野龍樹（同）164・38

【女子】◇予選（ショートプログラム）▽B＝①今井遥（日本橋女学館）58・78②上野沙耶（大阪薫英女学院）53・18③後藤亜由美（愛知みずほ大学瑞穂）47・16㉔長谷川圓（白樺学園）32・76

▼予選総合（24位まで決勝へ）＝①今井遥（日本橋女学館）58・78②上野沙耶（大阪薫英女学院）53・18③西野友穂（武蔵野）49・12㊳長谷川圓（白樺学園）32・76

涙浮かべて リンク後に

○…長谷川圓は演技終了後涙を浮かべリンクを後にした。コンビネーションの最初のジャンプでバランスを崩し、続くジャンプを断念。当初予定していたトリプルジャンプから、より確実なダブルに変更しての失敗だけに悔しさをにじませた。

4歳から始めたフィギュアも14年目。「辞めたいと思ったことは何度もあったけど、自分からフィギュアを取ったら何も残らないと踏みとどまってきた。集大成のインターハイだけに、昨年の予選敗退をばねに練習を重ねてきた。決勝での演技が目標だったが『リンクが変わったせいもあるけど、少し緊張してしまったのかも』と振り返った。

かちまいスポーツ
記録の速報は▶kachimai.mobi
写真がほしい▼TEL0120-25-9410

（19日・7位以下関係分）

【男子】▽1000㍍

日本高校記録 加藤 条治（山形中央） 1分10秒67

大会記録 加藤 条治（山形中央） 1分13秒05

①小田 卓朗（山形中央） 1分12秒91 ＝大会新

②長谷川 翼（白樺学園） 1・13・28

③北澤 慶記（釧路北陽） 1・14・43

④藤野 裕人（標茶） 1・14・46

⑤田中 穣（駒大苫小牧） 1・14・47

⑥寺島 翔平（佐久長聖） 1・14・56

⑦後藤卓也（帯農） 1・14・80⑨居城和樹（帯南商） 1・14・89⑬佐藤裕太（帯農） 1・15・46⑯関井翔太（帯南商） 1・15・78⑳今野明星（池田） 1・16・26㉒山澤諒（同） 1・16・88㉔中山航（帯三条） 1・17・07㉛永田龍次（同） 1・18・16㊹河瀬拓思（帯大谷） 1・20・54